

第142回秋田県種苗交換会 選賞一覧表



審査概評

第142回秋田県種苗交換会 審査長 金 和 裕

本年の1月は曇りや雪の日が多かったものの、2月、3月は平年より気温が高く経過し、消雪時期が早まりました。4月上旬は寒気の影響から低温となり、降雪となる所もみられましたが、4月中旬から下旬の前半にかけては平年に比べ高温となりました。

また、5月から6月上旬にかけては高温に加え、少雨となったため、農作業や農作物の生育に影響を及ぼしました。梅雨入りは6月15日ごろと平年より1日、昨年より4日早くなり、梅雨明けは7月31日ごろで平年より3日遅くなりました。7月以降は総じて高温で経過しました。

本年は、このように高温・少雨傾向で経過し、農産物の生育に影響を及ぼす気象となりましたが、生産者の皆様のご努力により、1,832点が出品され、各部門とも品質の高い農産物等が多く見られました。

審査にあたっては、それぞれの農産物の品種特性、品質、市場性などに重点を置いて厳正かつ公平に審査を行いました。

各部門の審査概要は次のとおりです。

第1部 水 稲

出品点数は56点で、品種別では「あきたこまち」が全体の38%と最も多く、次いで「めんこいな」が20%、「ゆめおぼこ」が7%となっております。地域別では、仙北の出品点数が26点と最も多く、次いで北秋田および秋田が12点、由利が3点、平鹿が2点、山本が1点となっております。

本年の気象経過から、全体的に生育は順調で、穂数及び㎡当たり籾数は平年より多くなりました。また、気温が高く出穂期が平年より早くなったことに加え、出穂後も高温が続いたため、登熟への影響が懸念されましたが、出品財は籾の充実の良いものが多く、茎葉や穂のボリューム感のある優品が揃っており、きめ細やかな栽培管理により厳しい気象条件を克服した生産者の栽培技術の高さがうかがわれます。

品種別入賞点数は、「あきたこまち」が12点と最も多く、次いで「めんこいな」が5点、「たつこもち」が3点、「秋のきらめき」が2点、「ゆめおぼこ」、「ひとめぼれ」、「秋田酒こまち」が各1点、グループ(3品種で1組)が1点となっております。地域別入賞点数は、仙北が14点と最も多く、次いで秋田が6点、北秋田が3点、山本、由利、平鹿が各1点となっております。入賞した出品財はいずれも品種特性がよくあらわれ、根や茎葉も健全で籾の充実が良く、病虫害のない秀品揃いで、栽培管理技術の高さが評価されます。

第2部 畑作物及び工芸作物

出品点数は245点で、このうち豆類が91点(37%)、雑穀が4点(2%)、いも類が34点(14%)、葉たばこが105点(43%)、ホップが11点(5%)で、北秋田からは62点の出品となっております。

豆類では、子実大豆が61点と最も多く、次いで株大豆が26点、小豆が2点、落花生が1点、黒豆が1点で、大豆の品種は子実大豆、株大豆ともにすべて「リュウホウ」ととなっております。子実大豆は、粒揃い、色沢に優れ、病虫害の少ない優品揃いです。株大豆は、生育が旺盛で、病虫害も少なく、健全な株が多く出品されております。

雑穀類では、ソバが「にじゆたか」など3品種4点で、熟度と色沢に優れております。

いも類では、馬鈴しょは「メイクイン」など4品種17点、甘しょが「シルクスweet」など5品種17点で、品種の特性をよくあらわした、形状・品質の揃ったものとなっております。

葉たばこは105点で、品種はすべて「第1パーレー種(たいへい)」となっており、品種特性を兼ね備えた素質の良いものが多くみられております。

ホップは11点で、品種はすべて「キリン2号」となっており、毬花(まりはな)の揃いと香気に優れ

たものとなっております。

第3部 果 樹

出品点数は243点で、地域別では北秋田が62点で全体の26%と最も多く、次いで秋田44点、鹿角43点でそれぞれ全体の18%ずつとなっております。北秋田からは過去10年間で最も多い出品数となっております。

樹種別では、りんごが全体の58%と最も多く、次いで日本なしが32%、ぶどうが3%であり、7樹種40品種が出品されております。

品種別にみますと、りんごでは「ふじ」が全体の15%と最も多く、次いで「秋田紅あかり」、「王林」、「シナノゴールド」、「シナノスイート」、日本なしでは「あきづき」が多く、次いで「秋泉」となっております。

出品財の特徴として、りんごでは優良着色系の「ふじ」や甘系で外観が特徴的な「秋田紅あかり」、日本なしでは果形良好で大玉な「あきづき」や高糖度で食味良好な「秋泉」、ぶどうでは種なし大粒系など、消費者に人気の高い品種が多く出品されており、市場性の高い品種への更新が着実に進んでいることがうかがわれます。

本年の生育は、開催地の日本なしや平鹿のりんごなどで開花期から数回にわたる降電や、夏季の高温乾燥による果実の肥大抑制、ハダニや日焼けの発生などによる減収や品質低下が心配され、また、秋には数度の台風の接近など、気象災害が少なからず影響し厳しい栽培環境となりました。

このような中であっても、病害虫の発生は一部にとどまり、出品された果実はいずれも品種固有の形状や大きさを示し、糖度が高く食味の良いものに仕上がっており、適正な肥培管理や病害虫防除など優れた栽培管理の高さがうかがわれます。

第4部 野 菜

出品点数は851点で、地域別では北秋田が38%と最も多く、次いで山本が17%、仙北が12%となっております。県北・中央・県南別では、それぞれ60%、18%、22%となっております。県北地域から多く出品されております。

種類別では、葉菜類が59%と最も多く、次いで果菜類が21%、根菜・いも類が20%で、葉菜類の比率が高くなっております。

本年は初夏の乾燥、夏季の高温により、出品数への影響が懸念されました。このような条件下でも多数の出品があり、時期ごとの気象に対応し、丁寧な管理された努力がうかがわれます。

品目別の主な特徴として、ヤマノイモが開催地を中心に形状、揃いの良いものが多数出品され、産地の栽培技術の高位平準化が認められます。キャベツは全県から出品され、出品数が最も多く、野菜栽培

の広がりが感じられます。ネギは全県から高品質な出品が見られ、出品数も多く、高収益野菜生産への取組が進んでいることがうかがわれます。一方でホウレンソウやセリ、キュウリは出品に地域性があり、出品点数はやや少ないものの、高品質なものがそろっており、産地で高度な栽培技術が共有されていることがうかがわれます。

第5部 花 き

出品点数は308点で、地域別では開催地である北秋田が最も多く、次いで秋田、由利となっております。類別では、1類の切花類が276点と最も多く、3類の鉢物と4類の種苗類が併せて30点となっております。品目別では、ダリアが156点と最も多く、次いでキク類が52点、リンドウが25点となっております。

ダリアは、県重点品目の振興により、出品点数は過去最大となり、開催地である北秋田から多く出品され、品質も年々向上しております。品種構成は、県オリジナル品種の「NAMA H A G Eダリア」が中心であり、花型や花色は多様で、会場に華やかな印象を与えております。本県の主要品目であるキク類は、昨年に比べ出品数は少なくなりましたが、わき芽のつみ取りに手間を要するディスプレイマムが増えており、生産者の方々の需要の変化を捉えた意欲的な取組が見てとれます。トルコギキョウは、フリンジ咲き品種を主体に、大輪の秀品に仕上がっております。リンドウは青色を中心に、桃色、複色など多彩で、開花段数が多くボリューム感のある出品財が多くなっております。鉢物・種苗類では、パンジー・ビオラ類が出品されております。本年は、8月上旬以降の猛暑により高温障害の発生や出荷時期が早まるなどしましたが、いずれの出品財からも生産者の方々のご努力と、気象条件を克服した栽培技術の高さがうかがわれます。

花き部門では、受賞者を始めとして30代から40代の経営主から多くの出品があり、本県花き産業の大きな発展が期待されます。

第6部 農林園芸加工品

出品点数は60点で、農林園芸加工品が53点、農林工芸品が7点となっております。地域別では、北秋田が23点、鹿角が9点など、開催地に近い県北からの積極的な参加がありました。

農林園芸加工品では、トマトや山菜などの加工品類の瓶詰めが12点、いぶり漬けや味噌漬けなどの漬物が11点、キクイモ、りんごなどの乾燥野菜類が7点、菓子類6点、その他加工品などが出品されております。近年の傾向として、品質はもとより、包装、パッケージに工夫や改良のあとがうかがえる出品財が増えているのが特徴です。また加工技術や衛生管

理の向上に努力されたものが数多く出品されております。

農林工芸品では、わら細工7点が出品されております。いずれも伝統技術を活用し、機能性に優れた出品財となっております。

第7部 畜産品及び飼料

出品点数は38点で、畜産品14点、飼料24点となっております。

畜産品及び加工品では、はちみつが13点、鶏卵が1点出品されており、はちみつは、アカシアを蜜源としたものが7点、トチが3点、百花蜜（ひゃっかみつ）が2点、イタチハギが1点で、地域別では鹿角が過半数を占めております。全県的に着花量および採蜜量は平年並みでしたが、出品財は、いずれも鮮明度・色沢に優れ、香気・風味ともに良好で樹種の特徴をよく備えており、糖度も十分な品質となっております。

飼料は、イネホールクロップサイレージが14点、乾牧草が9点、トウモロコシサイレージ1点の出品であり、地域別では仙北が9点と最も多く、次いで由利が8点、平鹿が7点でした。

本年の気象経過から、一番草の生育は良好で、適期に収穫・調製がなされており、品質の優れたものが多く出品されております。

入賞した出品財は飼料自給率向上のための積極的な取組の成果から、穂及び茎・葉の割合、品質調製が適切で、雑草等の混入もなく、触感、香気に優れた良質な基礎飼料となっております。

第8部 林産品

出品点数は31点で、品目別では生しいたけが27点と最も多く、次いで乾しいたけが2点、なめこが2点となっております。その中で、生産額において県内の主要農産品目となっている生しいたけは、出品点数の大半を占め、それぞれの品質格差が非常に少なくなっていると同時に、肉厚で鮮度の良いものが出品されております。

乾しいたけは、カサ表面の花模様が白から薄茶色で割れ目がはっきりしており、高品質のものが出品されております。なめこは、原木栽培特有の肉厚で鮮明な色沢と雑物の付着が少ない、形状・品質の揃った出品財となっており、全体的に品質格差の少ない、高品質のものが多く出品されております。

品目別入賞点数は、生しいたけが8点、乾しいたけが1点となっております、いずれも高品質で、特にカサの色沢が鮮明で付着物が少ないなど、生産技術の高さがうかがわれます。

学校農園展審査講評

秋田県教育庁北教育事務所

指導主事 中川 博子

今年度の第37回秋田県学校農園展には中学校1校、小学校16校、特別支援学校6校の計23校から御応募をいただきました。例年以上の応募があったということは、農園活動を通して自然や農作物の生命を感じる子どもたちの成長を実感されているためとうれしく思います。

農作物はサツマイモを中心に、カボチャやジャガイモ、水稻などの農作物が出品されました。また、地域の特産品であるネギやサトイモ、リンゴ、大根、ラベンダーなどの栽培に挑戦した学校や、大豆やハックルベリーを加工して出品した学校もありました。各学校が地域の特色を生かして農作物や加工品を作っていることが伝わってきました。

各学校の活動記録には、畝づくりから苗植え、除草作業、収穫、さらには農作物を活用した加工・販売活動の様子が、文字や絵、表やグラフ、写真や観察記録等で、分かりやすく工夫してまとめられました。どの学校の活動記録にも、農作業に取り組む子どもたちの真剣な表情、友だちと協力して作業する楽しそうな顔、収穫の喜びと自分たちで育てた作物をおいしく食べる満面の笑顔等の写真が添えられており、活動の様子がよく伝わってきました。また、栽培や農作物を加工する活動、加工品を販売する活動等に地域の方々や専門的な知識や技術をもつ方々の協力を得ながら行うことで、多方面への広がりや繋がりが生まれ、子どもたちの活動が充実したものになっていると感じました。

作文からは、「種から育てることで生まれた農作物への愛着」や「友だちと協力して作業することの大切さ」「農作物が大きく成長したときの喜びとうれしさ」など素直な気持ちを子どもらしい感性で表現していました。また、農業を自分事として捉え、「たくさんの努力があって、おいしいお米や野菜ができることに気付いた」「米作りを体験し、感謝して一粒一粒を食べるようになった」「花を植えることで地域の人たちを笑顔にしたい」「将来の仕事にやりがいのある農業を考えはじめた」など、農業に携わる人への感謝の思いや地域との繋がり、将来の職業として考える作文が見られました。農園活動が子どもたち一人一人の豊かな人間性や感性を育んでいることを改めて感じることができました。

土作りから始まる農作物の栽培は、子どもたちのために協力を惜みず駆けつけてくれる地域や関係機関の方々、関係機関との連絡調整をしてくれた先生方等の支えがあって初めてできるものです。農作業体験は、作物を育てる楽しさや収穫の喜び、感謝の心、仲間や地域の方との共同作業による充実感や達成感を子どもたちに味わわせ、それと同時に周囲の大人を元気にする双方向の活動となっています。

このような農園活動が、ふるさとの良さを再確認し、郷土の自然や風土を愛する子どもの育成等に結び付くとともに、さらには地域の活性化に貢献する活動につながっていくと思います。今年度、大館市で行われた学校農園展をきっかけに、農作物づくりに関心をもつ子どもや学校が更に増えることを期待しています。

秋田県市長会会長賞

生 し い た け | 北 研 705 号 | 鹿 角 市 | か づ の | 兎 澤 一 男

秋田県町村会会長賞

ダ イ コ ン | 秋農試39号(新秋田いぶりこまち) | 三 種 町 | 秋田やまもと | 桧 森 安 孝

特 別 特 賞

全国たばこ耕作組合中央会会長賞

葉 た ば こ | 第1パーレー種たいへい | 大 館 市 | あ き た 北 | 安 部 陽 子

日本たばこ産業株式会社東日本原料本部長賞

葉 た ば こ | 第1パーレー種たいへい | 横 手 市 | 秋田ふるさと | 加 藤 弥

秋田県たばこ耕作組合組合長賞

葉 た ば こ | 第1パーレー種たいへい | 大 館 市 | あ き た 北 | 安 部 陽 子

秋田県たばこ耕作組合組合長賞

葉 た ば こ | 第1パーレー種たいへい | 大 仙 市 | 秋田おぼこ | 加 藤 文 一

秋田県たばこ耕作組合組合長賞

葉 た ば こ | 第1パーレー種たいへい | 横 手 市 | 秋田ふるさと | 加 藤 弥

秋田魁新報社賞

切花(輪 ギ ク) | 精 の 一 世 | 大 仙 市 | 秋田おぼこ | 田 村 辰 徳

家の光協会会長賞

水 稻 | ひ と め ぼ れ | 大 仙 市 | 秋田おぼこ | 福 田 幸三郎

日本農業新聞会長賞

日 本 な し | あ き づ き | 湯 上 市 | あ き た 湖 東 | 石 川 玉 夫

1 等 賞

水 稻 | 秋 の き ら め き | 大 仙 市 | 秋田おぼこ | 須 田 喜 彦
秋田県知事賞と受賞者と同じ ほか57名

2 等 賞

水	稲	あ き た こ ま ち	大 館 市	あ き た 北	因 幡 正 勝
水	稲	あ き た こ ま ち	大 能 代 市	あ き た 白 神	木 村 徹
水	稲	あ き た こ ま ち	大 仙 市	秋 田 お ぼ こ	樫 尾 清 逸
水	稲	あ き た こ ま ち	大 仙 市	秋 田 お ぼ こ	須 田 忠 一
水	稲	あ き た こ ま ち	大 仙 市	秋 田 お ぼ こ	須 田 倫 有
水	稲	あ き た こ ま ち	大 美 郷 町	秋 田 お ぼ こ	深 澤 喜 一
水	稲	め ん こ い な	大 仙 市	秋 田 お ぼ こ	岡 本 清 次 郎
水	稲	め ん こ い な	大 仙 市	秋 田 お ぼ こ	佐 々 木 忠 勝
株	大 豆	リ ユ ウ ホ ウ	大 館 市	あ き た 北	向 田 大 豆 種 子 生 産 組 合
株	大 豆	リ ユ ウ ホ ウ	秋 田 市	秋 田 な ま は げ	石 井 健
大	豆	リ ユ ウ ホ ウ	大 館 市	あ き た 北	中 田 好 雄
大	豆	リ ユ ウ ホ ウ	五 城 目 町	あ き た 湖 東	(農) 山 林 正 志
大	豆	リ ユ ウ ホ ウ	秋 田 市	秋 田 な ま は げ	佐 藤 慶 信
大	豆	リ ユ ウ ホ ウ	秋 田 市	秋 田 な ま は げ	左 手 大 豆 部 会 眞 子 佐 々 木
甘	し ょ	シ ル ク ス イ ー ト	北 秋 田 市	秋 田 た か の す	戸 沢 澄 子
馬	鈴 しば	メ ー ク イ ン	美 郷 町	秋 田 お ぼ こ	照 井 正 明
葉	た ば こ	第 1 パ ー レ ー 種 た い へ い	鹿 角 市	か づ の	田 中 広 栄
葉	た ば こ	第 1 パ ー レ ー 種 た い へ い	大 館 市	あ き た 北	渡 辺 優 子
葉	た ば こ	第 1 パ ー レ ー 種 た い へ い	北 秋 田 市	秋 田 た か の す	渡 部 健 一 郎
葉	た ば こ	第 1 パ ー レ ー 種 た い へ い	由 利 本 荘 市	秋 田 し ん せ い	小 松 正 武
葉	た ば こ	第 1 パ ー レ ー 種 た い へ い	由 利 本 荘 市	秋 田 し ん せ い	長 谷 山 博 昭
葉	た ば こ	第 1 パ ー レ ー 種 た い へ い	大 仙 市	秋 田 お ぼ こ	小 林 靖
葉	た ば こ	第 1 パ ー レ ー 種 た い へ い	大 仙 市	秋 田 お ぼ こ	工 藤 正 義

ホウレンソウ	ウレソウ	ジャステイン	鹿角市	かづの	菩提野光代
ホウレンソウ	ウレソウ	ハイドン	大仙市	秋田おぼこ	田口由美子
ホウレンソウ	ウレソウ	福兵衛	横手市	秋田ふるさと	佐々木和佳子
ミニトマト	マトマト	TY千果	三種町	秋田やまもと	加賀谷寿
ミニトマト	マトマト	サンチェリーピュアプラス	由利本荘市	秋田しんせい	半田淳
メロン	インモ	千果	三種町	秋田やまもと	畠山則夫
ヤマノイモ	インモ	秋田甘えんぼR	秋田市	秋田なまはげ	加藤春彦
ヤマノイモ	インモ	大館1号	大館市	あきた北	若松政徳
ヤマノイモ	インモ	大館1号	大館市	あきた北	赤坂敏
ヤマノイモ	インモ	大館1号	大館市	あきた北	佐藤実江子
ヤマノイモ	インモ	大館1号	大館市	あきた北	因幡成弘
ヤマノイモ	インモ	大館1号	大館市	あきた北	前田主幸
ヤマノイモ	インモ	大館1号	大館市	あきた北	松田健
切花(ストック)	ク	丹波	北秋田市	秋田たかのす	小笠原昌
切花(プレギク)	ク	雪波	羽後町	うご	佐藤総
切花(ダリア)	ア	セイブルノ	北秋田市	秋田たかのす	根田輝男
切花(ダリア)	ア	NAMAHAGEクリムゾン	仙北市	秋田おぼこ	高橋勉
切花(ダリア)	ア	NAMAHAGEチーク	にかほ市	秋田しんせい	須藤孝子
切花(ダリア)	ア	NAMAHAGEマジック	秋田市	秋田なまはげ	(農)平沢ファーム 代表理事 齊藤又右衛門
切花(ダリア)	ア	大曲の花火花紫音	大仙市	秋田おぼこ	今野喜一
切花(ダリア)	ア	かまくら	秋田市	秋田なまはげ	京極順哉
切花(ダリア)	ア	純愛の君	秋田市	秋田なまはげ	佐々木善明
切花(ダリア)	ア	マーメイド	秋田市	秋田なまはげ	伊藤錚悦
切花(ダリア)	ア	ミッチャッチャ	秋田市	秋田なまはげ	佐々木夏樹
切花(ダリア)	ア	ラララ	秋田市	秋田なまはげ	長谷部健
切花(デイスパッドマム)	ム	ロサーノエリザベス	横手市	秋田ふるさと	加藤勉
切花(トルコギキョウ)	ウ	セレブⅢ型グリーン	羽後町	こまち	鵜沼利康
切花(リンドウ)	ウ	ホワイトハイジ	由利本荘市	秋田しんせい	小松金義
切花(リンドウ)	ウ	深山ラブ	東成瀬村	こまち	古谷実
切花(小ギク)	ク	精京わらべ	潟上市	秋田なまはげ	根昭彦
切花(小ギク)	ク	精しのめ	横手市	秋田ふるさと	佐藤郁夫
切花(輪ギク)	ク	精興栄山	男鹿市	秋田なまはげ	安田善八
種苗(パンジー)	ー	パシオイエローブロッチ	にかほ市	秋田しんせい	奥山和栄
種苗(パンジー)	ー	パシオクリアイエロー	にかほ市	秋田しんせい	横山大祐
種苗(ビオラ)	ラ	フローラルパワーゴールドパープルウイング	にかほ市	秋田しんせい	斎藤寛芳
真空パック	ク	ハニーショコラ83	鹿角市	かづの	ジュボンかづの(株)
梨フレッシュギフトボックス	詰	ブルーベリーシロップ漬け	男鹿市	秋田なまはげ	梨フレッシュ
瓶	詰	メルロー・シャルドネ・フジの夢	鹿角市	かづの	ジュボンかづの(株)
ブドウジュース	詰	トチ	由利本荘市	秋田しんせい	豊島昂生
はちみつ	詰	混播	鹿角市	かづの	勝田尚
乾牧草	ジ	水稻(ひとめぼれ)	大仙市	秋田おぼこ	草薨昭平
サイレタ	け	北研705号	由利本荘市	秋田しんせい	相庭香月
生しいたけ	け	菌興115	小坂町	かづの	木村功
乾しいたけ	け		三種町	秋田やまもと	田中隆一

3

等

賞

水	稲	あきたこまち	北秋田市	秋田たかのす	中嶋力蔵
水	稲	あきたこまち	五城目町	あきた湖東	小玉重博
水	稲	あきたこまち	大潟村	大潟村	松橋勝悦
水	稲	あきたこまち	由利本荘市	秋田しんせい	佐々木富春
水	稲	あきたこまち	大仙市	秋田おぼこ	松本啓子
水	稲	あきたこまち	横手市	秋田ふるさと	谷口久寿
水	稲	秋田酒こま	大仙市	秋田おぼこ	松本良悦
水	稲	秋のきらめ	大仙市	秋田おぼこ	渡部雄太

り	ん	ご	シ	ナ	ノ	ゴ	ー	ル	ド	横	手	市	秋	田	ふ	さ	と	佐	藤	貢
り	ん	ご	シ	ナ	ノ	ゴ	ー	ル	ド	湯	沢	市	こ	ま	ち	の	佐	松	政	
り	ん	ご	シ	ナ	ノ	ス	イ	ー	ト	鹿	角	市	か	づ	の	高	免	澤	悦	
り	ん	ご	シ	ナ	ノ	ス	イ	ー	ト	湯	沢	市	こ	ま	ち	高	橋	橋	直	
り	ん	ご	ふ							横	手	市	秋	田	ふ	さ	と	佐	藤	謙
り	ん	ご	ふ							横	手	市	秋	田	ふ	さ	と	佐	藤	謙
り	ん	ご	ふ							湯	沢	市	こ	ま	ち	高	橋	橋	末	
り	ん	ご	ふ							湯	沢	市	こ	ま	ち	高	橋	橋	子	
り	ん	ご	紅		秋				光	湯	沢	市	こ	ま	ち	山	下	政	弘	
り	ん	ご	ゆ	め	あ	か			り	湯	沢	市	こ	ま	ち	山	下	中	悦	
イ	チ	ゴ	す	ず	あ	あ	か		ね	横	手	市	こ	ま	ち	田	中	橋	健	
エ	ダ	マ	丹		波	大			黒	大	館	市	あ	き	た	小	畑	公	悦	
大		葉	丸		葉	將			高	北	秋	田	秋	田	た	か	の	采	物	
カ	ボ	チ	栗		恋	す	る	マ	ロ	北	秋	田	秋	田	た	か	の	采	子	
カ	ボ	チ	恋		恋	す	る	マ	ロ	北	秋	田	秋	田	た	か	の	長	岐	
カ	ボ	チ	恋		恋	す	る	マ	ロ	北	秋	田	秋	田	た	か	の	津	谷	
カ	リ	フ	美						星	横	手	市	秋	田	ふ	さ	と	佐	藤	
キ	ヤ	ベ	Y	C	R	こ	ん	ご	う	能	代	市	秋	田	あ	き	た	工	藤	
キ	ヤ	ベ	Y	C	R	こ	ん	ご	う	能	代	市	秋	田	あ	き	た	佐	藤	
キ	ヤ	ベ	Y	C	R	こ	ん	ご	う	能	代	市	秋	田	あ	き	た	佐	藤	
キ	ヤ	ベ	Y	R	彩	藍	2	号	お	大	館	市	秋	田	あ	き	た	本	間	
キ	ヤ	ベ	あ		さ	し			お	大	館	市	あ	き	た	北	鎌	田	謙	
キ	ヤ	ベ	あ		さ	し			お	大	館	市	あ	き	た	北	鎌	田	一	
キ	ヤ	ベ	あ		さ	し			お	能	代	市	あ	き	た	白	桜	田	幸	
キ	ヤ	ベ	あ		さ	し			お	能	代	市	あ	き	た	白	(農)富根	ファーム	美	
キ	ヤ	ベ	あ		さ	し			お	男	鹿	市	秋	田	な	ま	井	康	晃	
キ	ヤ	ベ	あ		さ	し			お	大	湯	村	秋	田	お	ば	井	由	美	
キ	ヤ	ベ	あ		さ	し			お	大	美	郷	秋	田	お	ば	田	和	子	
キ	ヤ	ベ	あ		さ	し			お	美	郷	町	秋	田	お	ば	田	榮	子	
キ	ヤ	ベ	あ		ま	ら			雪	鹿	角	市	か	づ	の	川	村	泰	儀	
キ	ヤ	ベ	初	秋	か	ん	ら		園	能	代	市	あ	き	た	清	水	将	一	
キ	ヤ	ベ	祝		お	も			い	大	館	市	あ	き	た	(有)ア	グ	リ	川	
キ	ユ	ウ	冬		ク	セ	レ	ン	ト	美	郷	町	秋	田	お	ば	高	橋	勝	
キ	ユ	ウ	エ		ク	セ	レ	ン	ト	大	館	市	あ	き	た	菅	原	純	美	
ゴ		ウ	リ		ス	ベ	ク		想	大	館	市	秋	田	お	ば	小	山	紀	
サ	ト	イ	柳		川	理			垂	横	手	市	秋	田	ふ	さ	田	代	博	
サ	ト	イ	土						垂	横	手	市	秋	田	ふ	さ	田	井	幸	
サ	ヤ	イ	恋		み	ど			り	北	秋	田	秋	田	た	か	照	井	男	
サ	ヤ	エ	子		宝	三	日	絹	莢	能	代	市	秋	田	あ	き	山	谷	英	
サ	ヤ	エ	ニ		ム	ラ	サ	ラ	ダ	由	利	本	秋	田	あ	き	村	上	保	
シ	シ	ト	つ		ば	き	グ	リ	ー	大	館	市	秋	田	あ	き	佐	藤	久	
シ	シ	ト	つ		ば	き	グ	リ	ー	北	秋	田	秋	田	た	か	撫	養	子	
ズ	ッ	キ	つ		ば	き	グ	リ	ー	北	秋	田	秋	田	た	か	嶋	山	美	
セ			ブ		ラ	ク	ク	・	ボ	仙	北	市	秋	田	お	ば	高	橋	嗣	
セ			改		良	三			関	由	利	本	秋	田	し	ん	木	内	斗	
ダ	イ	コ	改		良	三			関	湯	沢	市	こ	ま	ち	千	葉	章	子	
ダ	イ	コ	あ		き	た	お	に	し	鹿	角	市	こ	ま	ち	川	村	泰	儀	
タ	マ	ネ	あ		き	た	お	に	し	羽	後	町	こ	ま	ち	安	倍	政	幸	
チ	ン	ゲ	あ		き	た	お	に	し	由	利	本	秋	田	し	ん	(農)田	大	善	
ト	マ	サ	マ		武	桃	ル	ソ	帝	能	代	市	あ	き	た	柴	田	和	園	
ト	マ	ト	桃		り	ん	太	郎	8	湯	沢	市	こ	ま	ち	奥	山	吉	弥	
									409	横	手	市	秋	田	ふ	さ				

第142回種苗交換会選賞一覧

ニ	ン	ニ	ク	福	地	ホ	ワ	イ	ト	大	仙	市	秋	田	お	ば	こ	田	畑	雄	基	
ネ			ギ	夏	扇		4	号	号	北	秋	市	秋	田	た	か	の	す	金	晃	咲	
ネ			ギ	夏	扇		4	号	号	能	代	市	あ	き	た	白	神	工	藤	武	一	
ネ			ギ	夏	扇	パ	ワ	一	一	北	秋	市	秋	田	た	か	の	す	木	村	望	
ネ			ギ	夏	扇	パ	ワ	一	一	能	代	市	あ	き	た	白	神	今	野	ナ	ミ	
ネ			ギ	夏	扇	パ	ワ	一	一	能	代	市	あ	き	た	白	神	今	野		肇	
ネ			ギ	夏	扇	パ	ワ	一	一	能	代	市	あ	き	た	白	神	伊	藤		悟	
ネ			ギ	夏	扇	パ	ワ	一	一	能	代	市	あ	き	た	白	神	大	高		晃	
ネ			ギ	夏	扇	パ	ワ	一	一	八	峰	町	秋	田	や	ま	も	と	森	田	貞	
ネ			ギ	夏	扇	パ	ワ	一	一	潟	上	市	秋	田	な	ま	は	げ	安	田	源	
ネ			ギ	夏	扇	パ	ワ	一	一	秋	田	市	秋	田	な	ま	は	げ	藤	島	岳	
ネ			ギ	関	羽	一	本	太	太	鹿	角	市	か	づ	の			安	保	良	則	
ネ			ギ	関	羽	一	本	太	太	大	館	市	あ	き	た	北		佐	藤	文	仁	
ハ			イ	秋	の	祭	典	典	典	大	館	市	あ	き	た	北		小	林	恒	雄	
ハ	ク	サ	イ	秋	の	祭	典	典	典	大	館	市	秋	田	お	ば	こ	小	山	田	秀	
ハ	ク	サ	イ	グ	ッ	ピ	ー	ー	ー	秋	田	市	秋	田	お	ば	こ	小	山	田	耕	
ピ	ー	マ	ン	ス	ー	パ	ー	ー	ー	大	仙	市	秋	田	お	ば	こ	田	近	善	寿	
ピ	ー	マ	ン	グ	ラ	ン	ド	ー	ム	秋	田	市	秋	田	な	ま	は	げ	佐	々	木	
ブ	ロ	ッ	コ	ビ	ク	セ	ル	シ	ル	北	秋	市	秋	田	た	か	の	す	佐	藤	三	
ブ	ロ	ッ	コ	く	ろ	わ	し	ン	ン	北	秋	市	秋	田	た	か	の	す	小	野	健	
ベ	イ	ナ	ス	ゴ	ー	ド	ン	ス	テ	大	仙	市	秋	田	お	ば	こ	長	澤	ト	シ	
ホ	ウ	レ	ソ	ジ	ャ	ス	テ	イ	ス	横	手	市	秋	田	お	ば	こ	伊	藤	圭	子	
ホ	ウ	レ	ソ	ス	パ	イ	ダ	ー	Z	美	郷	町	秋	田	お	ば	こ	谷	屋	貴	典	
ホ	ウ	レ	ソ	ド	ン	キ	ー	ー	ー	美	郷	町	秋	田	お	ば	こ	加	藤	篤	徳	
ホ	ウ	レ	ソ	福	兵	衛	衛	衛	衛	横	手	市	秋	田	お	ば	こ	古	内	雅	彦	
ミ	ニ	ト	マ	サ	ン	チ	ェ	リ	ー	由	利	本	秋	田	し	ん	せ	齊	藤		清	
ミ	ニ	ト	マ	サ	ン	チ	ェ	リ	ー	由	利	本	秋	田	し	ん	せ	渡	会	利	男	
ミ	ニ	ト	マ	サ	ン	チ	ェ	リ	ー	由	利	本	秋	田	し	ん	せ	佐	々	木	剛	
ミ	ニ	ト	マ	サ	ン	チ	ェ	リ	ー	由	利	本	秋	田	し	ん	せ	佐	藤	正	幸	
ミ	ニ	ト	マ	千						三	種	町	秋	田	や	ま	も	牧	野	昌	信	
ミ	ニ	ト	マ	リ	ト	ル	ジ	ェ	ム	大	館	市	あ	き	た	北		泉		弘	喜	
ヤ	マ	ノ	イ	大	館		1	号	号	大	館	市	あ	き	た	北		佐	藤	岳	杜	
ヤ	マ	ノ	イ	大	館		1	号	号	大	館	市	あ	き	た	北		渡	辺	篤	史	
ヤ	マ	ノ	イ	大	館		1	号	号	大	館	市	あ	き	た	北		富	樫	か	よ	
ヤ	マ	ノ	イ	大	館		1	号	号	大	館	市	あ	き	た	北		櫻	庭	隆	之	
ヤ	マ	ノ	イ	大	館		1	号	号	大	館	市	あ	き	た	北		角	森	繁	永	
ヤ	マ	ノ	イ	大	館		1	号	号	大	館	市	あ	き	た	北		小	松	元	雄	
ヤ	マ	ノ	イ	大	館		1	号	号	大	館	市	あ	き	た	北		小	山	眞	人	
ヤ	マ	ノ	イ	大	館		1	号	号	大	館	市	あ	き	た	北		安	達	拓	帆	
ヤ	マ	ノ	イ	大	館		1	号	号	大	館	市	あ	き	た	北		因	幡	友	一	
ヤ	マ	ノ	イ	丹						北	秋	市	秋	田	た	か	の	す	長	岐	琢	
ヤ	マ	ノ	イ	丹						北	秋	市	秋	田	た	か	の	す	小	野	栄	
ヤ	マ	ノ	イ	丹						北	秋	市	秋	田	た	か	の	す	小	野	和	
ヤ	マ	ノ	イ	丹						北	秋	市	秋	田	た	か	の	す	小	野	治	
切花	(アル	スト	ロ	ラ	ン	カ	ス	タ	ー	大	仙	市	秋	田	お	ば	こ	高	橋	孝	夫	
切花	(グ	ラ	ジ	エ	ス	タ	ボ	ニ	ー	大	仙	市	秋	田	お	ば	こ	高	橋	克	己	
切花	(ス	ト	ッ	ア	イ	ア	ン	チ	ェ	羽	後	町	こ	ま	ち			大	野	義	和	
切花	(ス	ト	ッ	ア	イ	エ	ロ	ー	ス	羽	後	町	こ	ま	ち			大	野	義	和	
切花	(ス	プ	レ	ラ	ン	タ	ン			潟	上	市	あ	き	た	湖	東	菅	原	良	一	
切花	(ダ	ス	テ	シ	ル	バ	ー	ダ	ス	鹿	角	市	か	づ	の			中	村	慶	邦	
切花	(ダ	リ	ア	N	A	M	A	H	A	秋	田	市	秋	田	な	ま	は	げ	渡	邊	美	由
切花	(ダ	リ	ア	N	A	M	A	H	A	仙	北	市	秋	田	お	ば	こ	古	郡	喜	久	
切花	(ダ	リ	ア	N	A	M	A	H	A	秋	田	市	秋	田	な	ま	は	げ	鎌	田	和	
切花	(ダ	リ	ア	N	A	M	A	H	A	大	館	市	あ	き	た	北		高	橋	良	児	
切花	(ダ	リ	ア	N	A	M	A	H	A	大	館	市	あ	き	た	北		高	橋	良	児	

(農) 強 首 ファーム
代表理事 小山田和人

切花 (ダ リ ア)	N A M A H A G E マジック	大 館 市	あ き た 北	渡 辺 和 子
切花 (ダ リ ア)	エ オ ナ G	大 館 市	あ き た 北	一 関 和 磨
切花 (ダ リ ア)	大 曲 の 花 火 紫 な が れ	大 仙 市	秋 田 お ば こ	(農)アグリフォー太田 代表 小松 二男
切花 (ダ リ ア)	か ま く ら	大 館 市	あ き た 北	高 橋 智 行
切花 (ダ リ ア)	黒 蝶	秋 田 市	秋 田 な ま は げ	杉 山 正 彦
切花 (ダ リ ア)	シ ャ イ ニ ー オ レ ン ジ	大 仙 市	秋 田 お ば こ	菊 地 孝 也
切花 (ダ リ ア)	ポ ー ト ラ イ ト ペ ア ビ ュ ー テ ィ ー	大 館 市	あ き た 北	高 松 玲 奈
切花 (ダ リ ア)	ミ セ ス ア イ リ ー ン	大 館 市	あ き た 北	仲 澤 徹
切花 (ダ リ ア)	ミ ル キ ー ピ ー チ	秋 田 市	秋 田 な ま は げ	佐 々 木 敏 男
切花 (デ ィ ス バ ッ ド マ ム)	セ イ ノ ー マ ン サ ニ ー	三 種 町	秋 田 や ま も と	関 駿 介
切花 (デ ィ ス バ ッ ド マ ム)	ヘ ッ ジ ホ ッ グ	に か ほ 市	秋 田 し ん せ い	佐 藤 公 世
切花 (デ ル フ ィ ニ ウ ム)	オ ー ロ ラ ブ ル ー イ ン プ	大 館 市	あ き た 北	佐 藤 と き 子
切花 (ト ル コ ギ キ ョ ウ)	フ ィ ー ノ ラ イ ト ピ ン ク	横 手 市	秋 田 ふ る さ と	高 橋 茂 樹
切花 (ト ル コ ギ キ ョ ウ)	プ ラ イ ム ホ ワ イ ト	大 館 市	あ き た 北	仲 澤 徹
切花 (リ ン ド ウ)	ア ダ ム	仙 北 市	秋 田 お ば こ	小 松 顕 悦
切花 (リ ン ド ウ)	深 山 秋	藤 里 町	あ き た 白 神	菊 地 昇 一
切花 (リ ン ド ウ)	深 山 秋	大 仙 市	秋 田 お ば こ	小 笠 原 知 史
切花 (リ ン ド ウ)	夢 ハ イ ジ 4 号	由 利 本 荘 市	秋 田 し ん せ い	村 上 孝 一
切花 (孔 雀 ア ス タ ー)	マ ー ク II	羽 後 町	う ご	佐 藤 裕 人
切花 (小 ギ ク)	精 黄 す だ れ	男 鹿 市	秋 田 な ま は げ	蓬 田 富 也
切花 (小 ギ ク)	精 黄 す だ れ	男 鹿 市	秋 田 な ま は げ	武 田 真 志 美
切花 (小 ギ ク)	精 京 わ ら べ	鹿 角 市	か づ の	池 田 衣 里 夏
切花 (小 ギ ク)	精 京 わ ら べ	潟 上 市	秋 田 な ま は げ	渋 谷 翔 太
切花 (輪 ギ ク)	精 の 一 世	男 鹿 市	秋 田 な ま は げ	佐 藤 洋 介
切花 (輪 ギ ク)	精 の 一 世	男 鹿 市	秋 田 な ま は げ	福 原 健
切花 (輪 ギ ク)	精 の 一 世	男 鹿 市	秋 田 な ま は げ	納 谷 拓 美
鉢 物 (シ ク ラ メ ン)	ハ イ ラ イ ト デ ィ ー プ ロ ー ズ	秋 田 市	秋 田 な ま は げ	石 井 正 伸
種 苗 (パ ン ジ ー)	バ シ オ イ エ ロ ー プ ロ ッ チ	に か ほ 市	秋 田 し ん せ い	戸 蒔 亨
種 苗 (パ ン ジ ー)	マ ト リ ッ ク ス イ エ ロ ー パ ー プ ル ウ イ ン グ	に か ほ 市	秋 田 し ん せ い	渡 辺 和 人
種 苗 (ビ オ ラ)	ピ エ ナ プ リ ン	に か ほ 市	秋 田 し ん せ い	横 山 蒼
乾 燥 野 菜	ト マ ト	北 秋 田 市	秋 田 た か の す	(有)栄物産
洋 菓 子 瓶 詰 セ ッ ト	ゼ リ ー (りんご)・山 ぶ だ じ ュ ー ス	鹿 角 市	か づ の	ジュボンかづの(株)
レ ト ル ト ト ウ モ ロ コ シ	お お も の	北 秋 田 市	秋 田 た か の す	山 田 市 右 エ 門
民 工 芸 品	ワ ラ グ ツ	大 仙 市	秋 田 お ば こ	伊 藤 久
は ち み つ	ア カ シ ア	三 種 町	秋 田 や ま も と	牧 野 ミ ネ 子
は ち み つ	日 本 み つ ば ち (百 花 蜜)	由 利 本 荘 市	秋 田 し ん せ い	佐 藤 薫
乾 牧 草	混 播	大 仙 市	秋 田 お ば こ	(農)ドリームコントラクター中仙 代表 細谷 精悦
サ イ レ ー ジ	水 稻 (ゆ め あ お ば)	横 手 市	秋 田 ふ る さ と	(農)かまくらファーム 代表 小原 重夫
サ イ レ ー ジ	デ ン ト コ ー ン (パ イ オ ニ ア)	由 利 本 荘 市	秋 田 し ん せ い	鈴 木 隆
生 し い た け	K A 1001 号	八 峰 町	秋 田 や ま も と	田 村 小 百 合
生 し い た け	北 研 607 号	横 手 市	秋 田 ふ る さ と	柴 田 徹
生 し い た け	北 研 705 ー L 号	北 秋 田 市	秋 田 た か の す	佐 藤 哲 也
生 し い た け	北 研 705 号	横 手 市	秋 田 ふ る さ と	佐 藤 宏 和
生 し い た け	千 曲 C S ー 2	美 郷 町	秋 田 お ば こ	(農)エネックス de AGRI 代表理事 細井 友亨

顕彰状に輝く人々

種 類	市 町 村 名	J A 名	受賞者名
ネ り サ ト 切花(トルコギキョウ)	能 代 市 由 利 本 荘 市 横 手 市 羽 後 町	あ き た 白 神 秋 田 し ん せ い 秋 田 ふ る さ と こ ま ち	今 野 司 齋 藤 亨 平 山 民 男 大 坂 洋 平

第37回秋田県学校農園展受賞校

最 優 秀 賞	秋 田 県 知 事 賞	N H K 秋 田 放 送 局 長 賞	湯 上 市 立 飯 田 川 小 学 校
優 秀 賞 1 席	秋 田 県 教 育 委 員 会 教 育 長 賞		大 館 市 立 第 一 中 学 校
優 秀 賞 2 席	家 の 光 協 会 会 長 賞		秋 田 県 立 栗 田 支 援 学 校 高 等 部
優 良 賞			秋 田 県 立 比 内 支 援 学 校 か づ の 校
優 良 賞			大 館 市 立 南 小 学 校
優 良 賞			大 館 市 立 釈 迦 内 小 学 校
優 良 賞			秋 田 県 立 比 内 支 援 学 校 た か の す 校
優 良 賞			由 利 本 荘 市 立 西 目 小 学 校
審 査 員 特 別 賞			秋 田 県 立 比 内 支 援 学 校
審 査 員 特 別 賞			大 館 市 立 上 川 沿 小 学 校
審 査 員 特 別 賞			秋 田 県 立 能 代 支 援 学 校
他 参 加 校	大 館 市 立 長 木 小 学 校	大 館 市 立 東 館 小 学 校	
	大 館 市 立 川 口 小 学 校	能 代 市 立 淳 城 西 小 学 校	
	大 館 市 立 山 瀬 小 学 校	三 種 町 立 浜 口 小 学 校	
	大 館 市 立 成 章 小 学 校	由 利 本 荘 市 立 鳥 海 小 学 校	
	大 館 市 立 城 西 小 学 校	秋 田 県 立 ゆ り 支 援 学 校 高 等 部	
	大 館 市 立 早 口 小 学 校	大 仙 市 立 高 梨 小 学 校	

第38回秋田県産米品評会

記載は、種類・品種名・市町村名・JA名・受賞者名の順。

秋田県産米改良協会会長賞

最	優	秀	賞
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
醸造	用	玄	米

あ	き	た	こ	ま	ち
あ	き	た	こ	ま	ち
あ	き	た	こ	ま	ち
あ	き	た	こ	ま	ち
あ	き	と	め	ほ	れ
あ	き	た	こ	ま	ち
秋	田	酒	こ	ま	ち

小	坂	町
に	か	ほ
仙	北	市
濁	上	市
北	秋	田
鹿	角	市
湯	沢	市

か	づ	の
秋	田	しんせい
秋	田	おぼこ
秋	田	なまはげ
秋	田	たかのす
主	食	集荷組合
こ	ま	ち

奈	良	延	浩
阿	部	静	夫
伊	藤	正	一
安	田	幸	悦
藤	島	喜	太郎
小	館	一	也
岩	村	力	男

優	秀	賞	
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
醸造	用	玄	米

あ	き	た	こ	ま	ち
あ	き	た	こ	ま	ち
あ	き	た	こ	ま	ち
あ	き	た	こ	ま	ち
あ	き	た	こ	ま	ち
あ	き	た	こ	ま	ち
あ	き	と	め	ほ	れ
秋	田	酒	こ	ま	ち

能	代	市
大	館	市
大	館	市
大	館	市
三	種	町
羽	後	町
由	利	本
鹿	角	市
五	城	目

あ	き	た	白	神
あ	き	た	北	
あ	き	た	北	
あ	き	た	北	
秋	田	やま	も	と
う			ご	
秋	田	しんせい		
か	づ	の		
あ	き	た	湖	東

福	司	貴	徳
高	橋	恵	嗣
高	橋	剛	郎
畠	山	薫	夫
近	藤	國	夫
高	橋	信	一
佐	藤		勉
(農)	なり	た	農園
嶋	崎	靖	晃

優	良	賞	
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
水稲	うるち	ち玄	米
醸造	用	玄	米

あ	き	た	こ	ま	ち
あ	き	た	こ	ま	ち
あ	き	た	こ	ま	ち
あ	き	た	こ	ま	ち
あ	き	た	こ	ま	ち
あ	き	た	こ	ま	ち
あ	き	た	こ	ま	ち
あ	き	た	こ	ま	ち
あ	き	た	こ	ま	ち
あ	き	た	こ	ま	ち
あ	き	と	め	ほ	れ
あ	き	た	こ	ま	ち
あ	き	と	め	ほ	れ
め	ん	こ	い	な	い
秋	田	酒	こ	ま	ち
秋	田	酒	こ	ま	ち

由	利	本	荘	市
五	城	目		
仙	北	市		
大	仙	市		
横	手	市		
三	種	町		
大	館	市		
濁	上	市		
北	秋	田		
男	鹿	市		
由	利	本	荘	市
美	郷	町		
由	利	本	荘	市
鹿	角	市		
小	坂	町		
湯	沢	市		

秋	田	しんせい		
あ	き	た	湖	東
秋	田	おぼこ		
秋	田	おぼこ		
秋	田	ふるさと		
秋	田	やま	も	と
あ	き	た	北	
主	食	集荷組合		
秋	田	たかのす		
秋	田	なまはげ		
秋	田	しんせい		
秋	田	ふるさと		
秋	田	しんせい		
か	づ	の		
か	づ	の		
こ	ま	ち		

佐	藤	哲	正
猿	田	幸	蔵
佐	藤	一	也
佐	々	木	桂
菊	池	明	男
田	中	美	和子
富	樫		覚
佐	藤	正	孝
(農)	柴	田	農園
加	藤	博	美
猪	股	生	弥
橘		勝	久
(農)	赤	田	ファーム
南	八	幡	平地域経営公社
中	村	修	太郎
能	登	公	平

特 別 特 賞

農林水産省政策統括官賞

水稲うるち玄米 | あきたこまち | 小坂町 | かづの | 奈良延浩

農林水産省東北農政局長賞

水稲うるち玄米 | あきたこまち | にかほ市 | 秋田しんせい | 阿部静夫

秋田県知事賞

水稲うるち玄米 | あきたこまち | 仙北市 | 秋田おぼこ | 伊藤正一

秋田県農業協同組合中央会会長賞

水稲うるち玄米 | あきたこまち | 潟上市 | 秋田なまはげ | 安田幸悦

全国農業協同組合連合会秋田県本部県本部長賞

水稲うるち玄米 | ひとめぼれ | 北秋田市 | 秋田たかのす | 藤島喜太郎

秋田県主食集荷商業協同組合理事長賞

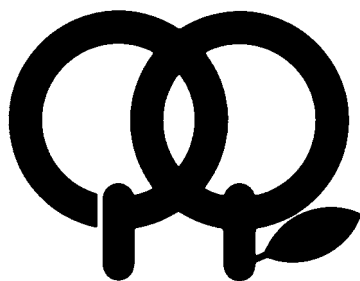
水稲うるち玄米 | あきたこまち | 鹿角市 | 主食集荷組合 | 小館一也

秋田県酒米生産流通対策協議会会長賞

醸造用玄米 | 秋田酒こまち | 湯沢市 | こまち | 岩村力男

奨励賞

醸造用玄米 | 秋田酒こまち | 由利本荘市 | 秋田しんせい | 秋田県立西目高等学校



シンボルマークの説明

~~~~~

公募により昭和52年8月11日制定。  
左の円形で秋田の頭文字「ア」を表し、右の円形で若芽の伸びる姿を  
図案化したもの。また、この2つの輪が農業県秋田の限りない躍進と県民  
の和を象徴する。

作者 鈴木晴夫氏 (秋田市)